教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10－8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 泉 雄一郎
編集人 池田啓子
電話 050（3538）2346
1部7円　年定価280円
（組合員の購読料は組合費の中に含む）

2015/2・1
No. 1876

2面
・阪神・淡路大震災20年「国際シンポジウム」

阪神・淡路大震災から20年となる1月17日、兵教組はラッセホールで「追悼の夕べ」を開催した。ご遺族や関係者ら288人が参加し、亡くなられた児童・生徒、教職員の方々のご冥福をお祈りするとともに、震災から学んだ経験や教訓をこれからの社会づくり、教育改革のとりくみに生かす決意を新たにした。（兵教組ホームページの組合員専用ページに動画を掲載）

また、翌18日には「心のケアの普遍化をはかるために」をテーマに国際シンポジウムが開かれた。（2面参照）

阪神・淡路大震災20年 児童・生徒、教職員

追悼の夕べ

神戸市立桂木小学校合唱団は追悼の歌として、「しあわせ運べるように」他2曲を歌った。

全員で黙祷を捧げた後、泉雄一郎執行委員長と、県教委の高井芳朗教育長が「1・17への思い」を述べた。

メモリアルコンサートでは「芦屋ユニオンアンサンブル」（芦屋支部組合員）がリコーダーと鍵盤ハーモニカを、「アンサンブル・フォーゼ」（神戸支部組合員）がサクソフォーンを、追悼の思いをこめて演奏した。

また、3歳で被災して父を亡くした関西大学の小島汀（わだい）さんが、当時の様子や20年間に出会った人々、現在の思い等を語った。

神戸市立桂木小学校合唱団のみなさん

語り

小島 汀さん

私の家は震災で全壊し、父は生き埋めになって亡くなった。当時3歳だった私は、たんすの下敷きとなり約3時間後に救出された。記憶はほとんどないが、小学校3年生くらいまで、暗い部屋で寝られない、トイレのドアを閉められないといった震災トラウマを抱えて生活した。

私と向き合ってくれた先生

私の通っていた芦屋市の精道小学校では、今でも20年間追悼式を続けている。私が6年生のとき、遺族代表として父親への手紙を読むことになった。しかし、いざ手紙を書こうとしてもあまり記憶がない。何を書いていいのか分からず、まったく鉛筆がすすまなかった。

そのとき、担任の先生や復興担当の先生が「素直な気持ちを書いていいんだよ」と声をかけてくださった。そのとき私は「お父さんがいなくなっても私はさみしくないもん」と言ってしまった。先生はその言葉に驚き、私の母に報告したが、母は私の思いをしっかりと受け止めてくれ、「それが3歳で震災を体験した汀の素直な気持ちだと思います」と伝えてくれた。先生方も震災遺児との向き合い方を熱心に考えてくれ、そばに寄り添ってくださった。あの時、先生が問いかけてくださらなかったら、ずっと心の中に父がいない悲しみを自分の中で整理できずに抱えていたのではないかと思う。先生方には、今も本当に感謝している。

震災を伝える活動を続けて

中学校に進学してからも震災を語り継ぐ活動をしていたが、震災の記憶がない自分がもどかしく、全国で唯一、環境防災科のある県立舞子高校に進学した。

大学生のときに東日本大震災が起こった。半年間大学を休学し、石巻市雄勝町で活動することにした。特別なことをしたわけではないが、子どもたちは「津波の前に戻りたい」「大切なものを取り返したい」といった悩みや悲しみを打ち明けてくれた。私も20年前の自分の思いや親の思いを考えるようになった。

震災で父親を亡くし、人の痛みや苦しみを知ったが、それ以上に大切な人を大切に思うという当たり前のことを教えてもらった。そして今、二度と自分と同じような思いをしてほしくないという気持ちから、子どもたちに防災教育を伝えるボランティアをしている。防災教育とは、人と人とのつながりを毎日大切にして生きていくことだと思う。だから子どもたちにも楽しんでもらいながら防災を伝えるようにしている。

環境防災科にすすんだおかげで被災地に行くこともできた。そして先輩や後輩ともつながりながら一緒に震災を伝える活動ができていることに感謝している。

1・17への思い

泉雄一郎執行委員長

阪神・淡路大震災で犠牲になられたみなさんのご冥福を心からお祈りするとともに、ご遺族の皆様に、改めて心からのお見舞いを申し上げる。

この1年間のとりくみをご報告し、御霊にささげる。

阪神・淡路大震災で保護者を亡くした子どもたちに奨学金を給付してきた「わかば奨学金」は、給付対象者を「兵庫県内の自然災害で保護者を亡くした子ども」に拡大して、09年の台風9号により保護者を亡くした佐用町の子どもたちに奨学金を給付している。

東日本大震災から4年を迎えようとしているが、その復興は道半ばである。兵教組は「福島県震災遺児奨学金」への支援カンパや、被災地から兵庫県に転入している子どもたちに図書カードを贈るとりくみも継続している。

阪神・淡路大震災の教訓を日々の教育実践に生かすとりくみについては、11月に開催した兵庫県教育研究集会の「生きる力を育む教育」分科会で、実践報告と討議がおこなわれた。

防災教育については、保護者と連携した粋プロジェクト、住民参加の原子力防災学習などの実践が報告され、兵庫教育文化研究所の防災教育部会から「東日本大震災にかかる避難児童生徒に対する支援状況調査」が特別報告された。

これらの実践報告をもとに、「忘れない」の中身は何なのか、教職員の使命として、「忘れない」ための方法をどのように考えるかなど、討議が深められた。

兵教組並びに兵庫県学校厚生会は、子どもたちに「生きる力」をはぐくむ教育実践の深化・発展、教職員や子どもたちの支援に、引き続き努力することをお誓い申し上げる。

高井芳朗教育長

県教委を代表し、犠牲になられた方々の御霊に改めて深く哀悼の意を表する。

私たちは壊滅的な被害を受けたあの日以降、「兵庫の防災教育」を推進するとともに、兵庫型「体験教育」を県民の参画と協働により展開してきた。

昨年11月には、高校生による東日本大震災被災地支援活動、震災・学校支援チーム（EARTH）の活動等、震災の教訓を継承したとりくみを発信するとともに、震災以降、県が推進してきた「兵庫の防災教育」のとりくみを総括し、新たな防災教育の展開について共通理解をはかるため、震災20年防災教育フォーラムを開催した。

震災の記憶の風化が指摘されているが、県内の学校で防災訓練や教職員による語り継ぎがおこなわれ、被災地では追悼行事が開催されるなど、しっかりと学校文化として根付いている。

東日本大震災に際しては、EARTHによる支援だけでなく、県内の高校生が被災地に赴き、ボランティア活動にとりくんだ。

これら、震災から学んだ教訓を継承し、発展させている生徒たちを頼もしく、また誇らしく感じるとともに、教育関係の皆様のご尽力に感謝申し上げる。

現在、南海トラフ地震等の発生が想定され、また、昨年8月の丹波地区の豪雨災害にみられるように、各地で土砂災害が発生している。児童生徒の「命を守る」防災教育と学校の適切な対応が重要である。

改めて原点に立ち返り、東日本大震災の教育復興への支援、この先起こる災害への対応等の新たな課題に対して、子どもたちの命を守り共生の心を育む「兵庫の防災教育」を一層発展・充実させていくことが私たちの責務だと考えている。

防災教育とは、人と人とのつながりを大切にして生きていくこと

鍋まつり
ほっこりおいしい
2014年 11月1日(土)～2015年 2月28日(土)
ランチ 11:00～14:00　ディナー 17:00～21:00
※日・祝の営業は18:00までとなります。但し、団体様のご利用についてはご相談ください。
※閉店時間の30分前がラストオーダーとなります。 ※年末・年始（12月29日～1月6日）のご利用は事前にご予約ください。
前売りチケット お一人様 ¥3,100（税込）　当日 お一人様 ¥3,800（税込）
★前売りチケットはレストラン又はフロントでご購入ください。 ★チケットはレストランで金券としてもご利用頂けます。（有効期間 2015年2月28日迄）
ご予約時に「教育ひょうごを見た」と伝えていただければ、前売価格でご利用できます。
NEW! ピリ辛 塩とゆずベースのピリ辛風味 海鮮鍋
淡路島 嶋本牧場の「いのぶた」を使用 いのぶたのしゃぶしゃぶ鍋
佐賀県のブランド「みつせ鶏」を使用 みつせ鶏のしゃぶしゃぶ鍋
定番 よせ鍋 すき焼き
いずれのお鍋にも小鉢・〆のぞうすい又はうどん（ラーメン）付きです。
ご利用は2名様より
特典
①女性限定特典 4名様以上のご利用でお好きなドリンク1杯を無料プレゼント!
②前売チケットご購入で個室利用頂けます。レストラン個室は5名様以上（ご予約先着順）宴会場は20名様以上（ご予約先着順）
③前売チケット別途1枚で下記のお料理をご用意いたします。お造り盛り合せ・天ぷら・エイヒレ焼きの3品セット（2～3人前）
前売チケット3枚でステーキハウスルーアンの特別ステーキをご利用頂けます。
プライベートダイニングを思わせるゆっくりとした店内。ビジネスに、気の合う仲間との交流などにご利用頂けます。貸切利用も8名様から承ります。
●ディナーコース ¥6,480～（前日迄にご予約ください）
●ランチコース ¥2,000～
Lasse Hall
フリードリンク（2時間制）
ビール、焼酎、ウイスキー、ハイボール、酎ハイ、梅酒、日本酒、マッコリ、ジュース、ウーロン茶
お一人様 ¥1,200（税込）
※レストラン個室・宴会場の場合は、ビール・焼酎・ウイスキー・ジュース・ウーロン茶のみとなります。
予約問合せ レストラン リビエラ ☎078-291-1311
ラッセホール
〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-10-8
TEL.078-291-1117（代表） FAX.078-291-0333
http://www.lassehall.com E-mail info@lassehall.com
●神戸市営地下鉄県庁前駅より徒歩5分 ●JR、阪神元町駅より徒歩8分
●JR、阪急、阪神、地下鉄三宮駅より徒歩15分 ●高速花隈駅より徒歩15分
●山陽新幹線新神戸駅より車で5分

阪神・淡路大震災20年　国際シンポジウム

ー心のケアの普遍化をはかるためにー

いじめや虐待等が社会問題となり、心のケアは日常的に必要になっている

1月18日（日）、ラッセホールで「阪神・淡路大震災20年国際シンポジウム」が開催された。

冨永良喜さん（兵庫教育大学大学院教授）をコーディネーターに、マリーン・ウォンさん（南カリフォルニア大学大学院　教育学部副部長）、スティーブ・ハイドンさん（南カリフォルニア大学　社会福祉学部教授）、見澤光徳さん（西宮支部支部長・EARTH員）がパネリストとして登壇。全国から教職員等194人が参加し、活発な討議がおこなわれた。**（『こどもと教育』臨時増刊号149に詳細を掲載する）**

●交流の経過概要

兵教組は阪神・淡路大震災以降、9回の震災国際シンポジウムを開催してきた。その中で、UTLA（ロサンゼルス教職員組合）及びFEMA（アメリカ合衆国連邦緊急事態管理庁）の危機管理専門委員等のアドバイスにより、当時日本では認識がうすかった被災した子どもの「心のケア」にとりくみ、現在広く認知されるようになっている。

気候変動による自然災害と学校の備え

マリーン・ウォンさん

気候変動による自然災害に対する学校や行政機関の備えの重要性が増している。

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）のレポートによると、世界中で平均気温はどんどん上がっている。海面が上昇し、ハリケーンや台風の発生頻度が上がり、激しさも増す。

気候変動によって最も影響を受けるのが、女性、子ども、お年寄り、それから貧困にある人たちだ。アメリカではハリケーン・カトリーナの後、100万人近くの方々が避難し、多くがテキサス州ヒューストンに移った。そこでは2、3ヶ月間で、10万人の生徒が学校に転入しようとした。

ある研究によって、自然災害はコミュニティーのまとまりや各家庭の行動に大きな影響を与えることがわかった。学校は地域で最初に活動を再開する公共施設である。混乱した地域のコミュニケーション・インフラを立て直すために役立つことができるからだ。そのため、学校を基盤とした災害復旧計画は、住民の健康と安全に対する一時的かつ長期的な脅威を低減し、コミュニティー内の争いを減らすことができる。

アメリカでは、災害予防の行動計画や資源を、いじめ等の学校での暴力を防ぐためにも利用できるようにしている。例えば、教職員はいじめや自殺の兆しを評価する方法を教えられている。学校の襲撃事件を防ぐため、学校と警察が連携する機会も増えている。

国の災害対応計画には学校が組み込まれている。先生たちのトレーニングはすでにおこなわれているが、子どもへの脅威に対抗する知識を持つ保護者や地域住民を巻き込んで、さらに広範囲でおこなう必要がある。

国の危機管理体制としては、11年3月にサインされた大統領令（8号）がある。これは、過去のテロ攻撃やハリケーン、学校の事件等の経験から得た教訓にもとづいて、省庁間連携等、国レベルの準備体制について詳細に記述されている。学校の緊急事態時の運営計画は、警察と救急サービス、精神衛生に関わる人たちの連携を事前に確立するようもとめている。

阪神・淡路大震災から20年が経ち、教育と子どもの安全、健康の保全、それから防災は、日米両国で学校の使命の一部となっている。

「二次的外傷性ストレス」に対処する

スティーブ・ハイドンさん

二次的外傷性ストレス（STS）は、トラウマを抱えた人たちに対して何らかの形で接したときに起こるものである。トラウマの原因が人災か天災かは関係がない。例えば、学校での銃乱射事件や家庭内暴力等を目の当たりにしたときに起こるトラウマも含まれる。それによってうつや逃避、食欲不振、薬物中毒に陥ったりする。PTSDになる可能性があることもわかっている。

STSの概念は、1980年代初期に患者から衝撃的な話を聞いた看護師に源を発する。しばらくすると彼らの生活面と仕事面に影響が出て、眠れなくなったり、孤立感にさいなまれたりするようになった。

では、どのような人にリスクがあるのだろうか。例えば、他の人を気遣いつつ、自分の気持ちは無視してしまう人。あるいは相手の中に自分の姿を映しこんで見てしまう人。自分自身が未解決のトラウマを抱えているか、感情移入しやすい人たちだ。

感情移入と共感には違いがある。感情移入は他人と自分を重ねて同一視してしまうことで、共感は相手の苦痛や悲しみを感じるということだ。

STSの兆候は、相手に執着したり、短気になったり、自尊心が低下したり、集中力がなくなるといった形で現れる。感情の起伏が激しくなったり、身体面、行動面でも影響が出る。目的意識がなくなったり、家に引きこもったりすることもある。こういった症状が出ると、STSの可能性がある。大事なのは、それらの症状を認識し、何が原因かを知ることだ。

STSの影響を和らげるためにはセルフケアが重要だ。セルフケアとは、健康や幸福感を高めたり回復するための行為のことで、計画的におこなう必要がある。感情やストレスを管理し、食事や睡眠をきちんととらなければならない。読書や学習も必要だ。知的な刺激を長期間受けなかったらどうなるか考えてみて欲しい。仕事では、個人的な満足感が得られるようにしなくてはならない。精神面でも、人としての意味や目的を探していくことが必要である。

人間である以上、私たちは一人になりたいこともある。それはまったく問題ないが、他の人と結びついてサポートしあうしくみを構築することも大切である。

辛い体験をした子どもたちの心のケア

見澤光徳さん

私は阪神・淡路大震災を神戸の自宅で被災し、近くで亡くなられた方のご遺体を運ぶといった体験をした後、2月中旬まで学校に泊まりこんで避難所の運営を手伝った。2000年に結成されたEARTH（震災・学校支援チーム）には当初から加入し、研修を積みながら県内外の学校で震災の経験を話したり、自身の防災教育を紹介したりしてきた。

当初は震災の辛さを思い出したくなくて、防災教育や心のケアにとりくむことに苦痛を感じていた。しかし、在籍児童の大部分が児童養護施設から通っている西宮市立船坂小（10年に山口小へ統合）への異動をきっかけに変化があった。

施設には、養育者がいなかったり、虐待を受けている子どもたちが入所する。そのため船坂小ではまず安心感を与えることを大事にした。きちんと食事ができ、みんな仲間だと感じられる場にしようと考えた。流しそうめんや魚釣り等の家族的な学校行事や、時間を見つけてはあやとりや折り紙を教えるような教職員とのふれあいを通して、子どもたちは辛かった体験を少しずつ話し出す。

私はそのような指導が、災害後の心のケアの方法と大変似ていることに気づいた。子どもたちにとっては虐待も自然災害も、健やかな育ちを妨げるという意味では同じである。

そんな船坂小で私ができることは何かと考えた結果、「命を大事に」と言うのではなく、大切な命を守る具体的な方法を伝える防災教育を始めた。心肺蘇生法や圧迫止血法、リラクゼーションのための呼吸法も教えた。子どもたちは大いに楽しんでとりくんだ。

そしてそんな子どもたちと一緒に防災教育や心のケアにとりくんでいるうちに、私の中の地震に対する恐怖心も薄れていった。

虐待を受けた子どもたちに対して災害後の心のケアの方法は有効だ。しかし今の社会情勢を考えると、虐待でなくても「子どもの貧困」等に代表されるように、辛い体験をしている子どもたちは私たちが思う以上にいるはずだ。災害後の心のケアは特別なものではなく普遍的な指導となるのではないかと思う。

フロアとの意見交換より

――阪神・淡路大震災の直後に神戸では、がんばりすぎて燃え尽き症候群になってしまった仲間がたくさんいた。周りの人はどのような支援ができるか。

ハイドンさん

同僚が落ち込んでいたり、イライラしていたりするときは、つい避けがちになる。でもあえて、昼休みや仕事が終わった後に「今日はどう？」などと聞いてあげると良いと思う。聞くことで絆をつくることができる。

――東日本大震災の時、岩手では津波があった沿岸部だけでなく、内陸部でも大きな被害を受けた。しかし、内陸の人たちには「自分たちも被害を受けた」と言えず、思いを口に出せない人もいる。

ウォンさん

自分たちの問題を表現できないと思っている人に、「それは大変なことなんですよ」と声をかけてあげることが大切だ。心配していることを伝え、手を差し伸べることが重要である。

――災害では子どもとともに保護者も被災する。アメリカでは保護者のケアはどのようにおこなわれているか。

ハイドンさん

カウンセラーやスクールソーシャルワーカーが学校にいる場合は一緒に話を聞く。その後、地域内の他の機関につないで、保護者のカウンセリングができる場所を探す。

ウォンさん

トラウマを経験した後、保護者がうまく対応できなかったら子どもはもっと苦しむ。FEMAは、災害時に保護者と子どものカウンセリングのための資金を出せるようになっている。

統一地方自治体選挙
兵教組推薦
立候補予定者

神戸市会　須磨区
さきもと 祐治

兵庫県議会　三田市
池田 けい子

兵庫県議会　西宮市
おくの 尚美

4/3 告示
4/12 投開票

三木市議会
古田 ひろあき

明石市議会
おなか 利治

宝塚市議会
北野 さと子

伊丹市議会
川上 八郎

西宮市議会
岩下 あきら

4/19 告示
4/26 投開票